

# 平塚創生会

## 住んでいて良かった と思える街を目指して

白井 照人 議員

### 健康づくり推進条例

**問** 2025年における本市の社会保障費は、どれほど拡大するのか。

**市長** 2025年における後期高齢者の人口は、約4万3千人、前期高齢者の人口は、約2万9千人であると推計している。また、要介護者数は、1万4千人、このうち介護サービスの利用者数は、1万1300人であると推計している。介護給付費は、約1.7倍の約243億円、介護保険料基準月額額は、約1.7倍の8263円、後期高齢者の医療費は、約1.7倍の約411億円、国民健康保険の医療費は、約230億円であると推計している。

**問** 条例の制定により、財政負担は軽減されるのか。

**市長** 年齢や疾病の種類などのさまざまな要因から推計することは困難である。

**問** 将来の財政や、条例のもとたらず影響、効果などを勘案しながら作るべきであると考えるが、見解を伺う。

**健康・子ども部長** この条例は、理念を規定するために作成した。条例の制定により市民の意識が向上し、健康増進計画を着実に進めることで、医療費や介護費が軽減されると考える。

**問** 以前に、歯と口腔の健

### 通学路の安全対策

**問** 平成27年に、みずほ小学校の通学路である歩行者専用道路を車が横断し、危険度が増したため、通学路の変更をした。このことを教育委員会やみずほ小学校は知っていたのか。

**教育長** みずほ小学校は、保護者からの相談を受け、登下校時における児童の安全確保を最優先に考え、通学路を変更した。また今年5月に、地域の方から通学

**問** 防犯カメラの設置基準づくりについて見解を伺う。

**防災危機管理部長** 防犯カメラの適正な設置や運用に

**問** 10月開店の天沼地区の大型店舗に対応するため、中心商店街に商店版住宅リフォーム助成を行うが、事業内容を伺う。

**市長** シニア層や子育て世代へのバリアフリー化など、来街者にやさしい商店街づくりを促進する店舗改装費補助の事業である。

**問** 具体的な助成メニューや現状について伺う。

**産業振興部長** 建物の改修や備品の購入などについて、費用の2分の1、40万円を限度に助成する。現在、3店舗について予定している。

**問** 事業規模が非常に小さいと思う。商店の活性化や商売を続けていけるような助成ができないか。

**産業振興部長** 商業者のニーズを聞き、制度の拡充ができないか研究したい。

**問** 以前、再生可能エネルギーによる発電は重要と答弁しており、今後、産学公

路の変更について、学校に指摘が寄せられ、その報告を受けて、教育委員会は、初めて状況を把握した。

**問** 通学路である歩行者専用道路の横断に対する許可を元に戻せないか。

**土木部長** 歩行者専用道路の横断に対する許可は、安全対策も含め、十分に協議

**問** 通学路への指定や、その相談が寄せられるのであれば、地元の方の意見を聞き、道路管理者としてできる限りの安全対策を取っていききたい。

**企画政策部長** 検証は毎年している。徐々に減らしているが、さらに内訳を精査し検証する必要があると思う。

**問** 財団に対し運営費補助金を支出する必然性は全くない。速やかな見直しをすべきである。財団は莫大な収益をあげている駐輪場の事業用地を市から借りているが、年間賃料はいくらか。

**交通政策担当部長** 駐輪場は無償貸与としている。

**問** 駐輪場建設地は市民か

を想定している。しかし、事業者との兼ね合いなどから導入には至っていない。

**問** 地域が主体とのことであるが、住民に見える形での説明が必要ではないか。

**交通政策担当部長** 今年度中に、地域公共交通導入の考え方をまとめていく。

路の変更に伴って、学校に指摘が寄せられ、その報告を受けて、教育委員会は、初めて状況を把握した。

**問** 子供たちが安心して通学できるように、事業主と協議できるか。

**土木部長** 通学路への指定や、その相談が寄せられるのであれば、地元の方の意見を聞き、道路管理者としてできる限りの安全対策を取っていききたい。

**企画政策部長** 補助金はあくまでも公益事業に対するものである。収益があがっている状態であるが、公益に従事する人件費に対して補助金を支出している。

**問** 財団に対し運営費補助金を支出する必然性は全くない。速やかな見直しをすべきである。財団は莫大な収益をあげている駐輪場の事業用地を市から借りているが、年間賃料はいくらか。

**交通政策担当部長** 駐輪場は無償貸与としている。

**問** 駐輪場建設地は市民か

を想定している。しかし、事業者との兼ね合いなどから導入には至っていない。

**問** 地域が主体とのことであるが、住民に見える形での説明が必要ではないか。

**交通政策担当部長** 今年度中に、地域公共交通導入の考え方をまとめていく。

**福祉部長** そのとおりである。よって、町内福祉村を定めることは重要である。

**問** 町内福祉村の設置地域と未設置地域における活動する上での違いは何か。

**福祉部長** 町内福祉村を設置すると、活動するための拠点が広がる。

**問** 介護保険の要支援の認定を受けた方は、現行どお

である。これほど高い収益率をあげていることを誰も試算しなかったと思う。1日も早い改善を望むが、見解を伺う。

**交通政策担当部長** 今までの無償貸与について、検証をしていきたい。



### 市の外郭団体への 不必要な財政支援は見直しを

柏木 徹 議員

**まちづくり財団への補助金などは適正か**

**問** 過去5年間の財務諸表を確認した。なぜ3年連続莫大な収益をあげている財団に多額の補助金を交付し

ているのか。

**企画政策部長** 補助金はあくまでも公益事業に対するものである。収益があがっている状態であるが、公益に従事する人件費に対して補助金を支出している。

**問** 財団に対し運営費補助金を支出する必然性は全くない。速やかな見直しをすべきである。財団は莫大な収益をあげている駐輪場の事業用地を市から借りているが、年間賃料はいくらか。

**交通政策担当部長** 駐輪場は無償貸与としている。

**問** 駐輪場建設地は市民か

を想定している。しかし、事業者との兼ね合いなどから導入には至っていない。

**問** 地域が主体とのことであるが、住民に見える形での説明が必要ではないか。

**交通政策担当部長** 今年度中に、地域公共交通導入の考え方をまとめていく。

## 日本共産党平塚市議会議員団

### 高齢化社会に打ち勝つ 活力ある平塚にするために

松本 敏子 議員

### 地域経済の 活性化について

**問** 10月開店の天沼地区の大型店舗に対応するため、中心商店街に商店版住宅リフォーム助成を行うが、事業内容を伺う。

**市長** シニア層や子育て世代へのバリアフリー化など、来街者にやさしい商店街づくりを促進する店舗改装費補助の事業である。

**問** 具体的な助成メニューや現状について伺う。

**産業振興部長** 建物の改修や備品の購入などについて、費用の2分の1、40万円を限度に助成する。現在、3店舗について予定している。

**問** 事業規模が非常に小さいと思う。商店の活性化や商売を続けていけるような助成ができないか。

**問** 用途廃止により、住宅確保率は平成30年度の計画目標を下回る。市営住宅の戸数拡充が必要ではないか。

**都市整備部長** 県営住宅を含めた公営住宅の整備率は、県内19市中3番目と高い水準を保っており、市営住宅戸数の拡充は考えていない。

**問** 住生活基本法の理念や

していききたい。

**問** 子供たちが安心して通学できるように、事業主と協議できるか。

**土木部長** 通学路への指定や、その相談が寄せられるのであれば、地元の方の意見を聞き、道路管理者としてできる限りの安全対策を取っていききたい。

**企画政策部長** 検証は毎年している。徐々に減らしているが、さらに内訳を精査し検証する必要があると思う。

**問** 財団に対し運営費補助金を支出する必然性は全くない。速やかな見直しをすべきである。財団は莫大な収益をあげている駐輪場の事業用地を市から借りているが、年間賃料はいくらか。

**交通政策担当部長** 駐輪場は無償貸与としている。

平成27年度、財団全体で約4788万円積み上がっている。これは利益、収益以外の何物でもない。運営費に対する補助金について必要性を検証したことがあるか。

**企画政策部長** 検証は毎年している。徐々に減らしているが、さらに内訳を精査し検証する必要があると思う。

**問** 財団に対し運営費補助金を支出する必然性は全くない。速やかな見直しをすべきである。財団は莫大な収益をあげている駐輪場の事業用地を市から借りているが、年間賃料はいくらか。

**交通政策担当部長** 駐輪場は無償貸与としている。

**問** 駐輪場建設地は市民か

を想定している。しかし、事業者との兼ね合いなどから導入には至っていない。

**問** 地域が主体とのことであるが、住民に見える形での説明が必要ではないか。

**交通政策担当部長** 今年度中に、地域公共交通導入の考え方をまとめていく。

**福祉部長** そのとおりである。よって、町内福祉村を定めることは重要である。

**問** 町内福祉村の設置地域と未設置地域における活動する上での違いは何か。

**福祉部長** 町内福祉村を設置すると、活動するための拠点が広がる。

**問** 介護保険の要支援の認定を受けた方は、現行どお

である。これほど高い収益率をあげていることを誰も試算しなかったと思う。1日も早い改善を望むが、見解を伺う。

**交通政策担当部長** 今までの無償貸与について、検証をしていきたい。

の税金約28億円が投じられている。一坪当たり187万円である。専門家に当該土地の事業に供する場合の賃料を算出してもらった。取得原価から算出すると1億4千万円、予定収益から算出すると9700万円ということがある。なぜ市は無償で貸しているのか。

**交通政策担当部長** 本市の公益に資するものでもあり、早期整備を図るため無償で貸与している。

町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

**福祉部長** そこが非常に大きな問題である。一日も早く体制を作っていきたい。

**このほかの質問** 海岸エリア魅力アップの方向性

**福祉部長** 町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

**福祉部長** そこが非常に大きな問題である。一日も早く体制を作っていきたい。

**このほかの質問** 海岸エリア魅力アップの方向性

**福祉部長** 町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

**福祉部長** そこが非常に大きな問題である。一日も早く体制を作っていきたい。

**このほかの質問** 海岸エリア魅力アップの方向性

**福祉部長** 町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

**福祉部長** そこが非常に大きな問題である。一日も早く体制を作っていきたい。

**このほかの質問** 海岸エリア魅力アップの方向性

**福祉部長** 町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

**福祉部長** そこが非常に大きな問題である。一日も早く体制を作っていきたい。

**このほかの質問** 海岸エリア魅力アップの方向性

**福祉部長** 町内福祉村がない地域では、地域包括支援センターからの支援などの連絡は、どのようにされるのか。

### 平塚創生会 所属議員



金子 修一 議員



吉野 和美 議員

日本共産党平塚市議会議員団

所属議員

渡辺 敏光 議員